

① 研究課題名：日本における菌血症由来のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌の遺伝子型による特徴の違い

② 研究の目的：

名古屋市立西部医療センター総合内科では長崎大学病院検査部が行う①の研究に参加しています。

本研究では全国の医療機関で血液培養から検出された MRSA の菌株を収集して薬剤感受性試験および遺伝子解析を行い、CA-MRSA ※¹と HA-MRSA ※² に薬物感受性や毒性に違いがあるのかを検討するものです。本研究で CA-MRSA と HAMRSA の違いを明らかにできれば、遺伝子検査を実施せずに薬剤感受性などから CA-MRSA と HA-MRSA を区別できる可能性があります。

※1：CA-MRSA とは、市中感染症。

※2：HA-MRSA とは、院内感染症

③ 研究期間：2020年 3月 31日まで

④ 研究代表者及び研究実施施設一覧

研究代表者：長崎大学病院検査部 賀来敬仁

研究実施施設：研究終了時に菌株収集に参加した施設を登録する。

⑤ 研究の対象：

名古屋市立西部医療センターにおいて、2019年4月から2019年9月30日の間に、血液培養2セット以上から検出された黄色ブドウ球菌のうち、薬剤感受性試験で MRSA と判定された菌株および菌株が検出された方の診療情報を対象とします。

⑥ 調査項目：

基本情報：施設名、被験者識別コード、提出診療科、提出日、提出時期（外来／入院 48 時間以内／入院 48 時間以降）、入院からの経過日数、患者情報（性別、年齢）、菌血症の原因（感染性心内 膜炎、CV カテーテル感染症、肺炎、皮膚・軟部組織感染症、腹腔内感染症、尿路感染症、その他、不明）、菌株同定機器、薬剤感受性（機器名および各施設での結果）

⑦ 研究の方法：

研究担当医師が、対象となる方の診療録より「⑥調査項目」の情報を調査し、「症例調査票」に記入します。症例報告書及び培養された菌株は、長崎大学検査部 賀来敬仁へ提供され、集計・解析されます。

⑧ 研究成果の公開

日本感染症学会及び英文誌にて公表する。

⑨ 個人情報の保護

情報及び菌を提供する際、個人を特定する情報（あなたのお名前、ID、住所等）は削除し、あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番して、その番号を用いて症例報告書や菌株が提出されます。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。また、研究結果が公表される際も、個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨を

お伝えください。

⑩ 利益相反

本研究は日本感染症学会第 1 回臨床研究促進助成を利用して実施しますが、本研究に係る利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	総合内科	菊地 基雄 TEL：052-991-8121（代表）